

①個別データシート

種類

製品

英名

hydrazine hydrate (sodium hypochlorite synthesis)

整理番号:

JP310064

分類

化学工業製品

和名

水加ヒドラジン(次亜塩素酸ナトリウム合成)

・GHG排出量

6.66E+00 kg-CO2e/kg

・情報源分類

その他調査データ

・技術記述子

水加ヒドラジン(次亜塩素酸ナトリウム合成)の製造

・技術の内容と機能

アンモニアを次亜塩素酸ナトリウムで酸化しヒドラジンを製造。
(アンモニア、水)～酸化～水加

・情報源

主要原材料:アンモニア、水
主要産出物:水加ヒドラジン

CMC”ファインケミカルの技術と経済性分析”(1987)、
Kirk-Othmer Encyclopedia Vol.13

・データ作成者コメント

・CMC”ファインケミカルの技術と経済性分析”(1987)、
・Kirk-Othmer Encyclopedia Vol.13 の情報を基に作成

・適用範囲

原材料としてのアンモニアを、塩素と水酸化ナトリウムから合成した次亜塩素酸ナトリウムで酸化することによる水加ヒドラジンの製造である。

・システム境界

資源採取から製品の製造までを範囲とする。製品の日本国内における輸送を含まない。包装材を含まない。輸送のための梱包材を含まない。排水処理を含まない。産廃処理を含まない。

・配分

共製品はなく配分なし。

・GHG排出量の要因

主なGHG排出源は、水酸化ナトリウム,液体97%換算・固形有姿(水酸化ナトリウム(Cal-JPN))由来のCO2(化石資源由来)、塩素(塩素(Cal-JPN))由来のCO2(化石資源由来)、アンモニア,NH3 100%換算(アンモニア)由来のCO2(化石資源由来)、である。

②入出力データ

区分	フロー区分	品目名	連鎖した品目名	公開整理番号	数値	単位	備考	
ユーティリティ	中間フロー	入力	電力kWh	電力,公共	JP120001	2.00E-01	kWh	
ユーティリティ	中間フロー	入力	冷却水	工業用水道	JP323002	2.00E-01	m3	
資源/原材料	中間フロー	入力	アンモニア	アンモニア		8.52E-01	kg	
資源/原材料	中間フロー	入力	水酸化ナトリウム	水酸化ナトリウム		1.99E+00	kg	
資源/原材料	中間フロー	入力	塩素	塩素		1.78E+00	kg	
資源/原材料	中間フロー	入力	プロセス水	工業用水道		2.63E-02	m3	
資源/原材料	中間フロー	入力	蒸気	蒸気	JP122001	2.50E+00	kg	
水圏排出物	基本フロー	出力	処理済水			2.99E+01	kg	
廃棄物	中間フロー	出力	ベントガス(窒素)	産廃(特定せず)	*	7.00E-02	kg	
製品	中間フロー	出力	水加ヒドラジン(次亜塩素酸ナトリウム合成)	水加ヒドラジン,次亜塩素酸ナトリウム合成	JP310064	1.00E+00	kg	